

【審査番号6】

埴生地区複合施設整備事業 資料

埴生地区複合施設整備事業に係る基本設計業務 基本設計説明書（概要版）

平成29年（2017年）2月



山陽小野田市



株式会社 教育施設研究所

1. 計画概要・コンセプト

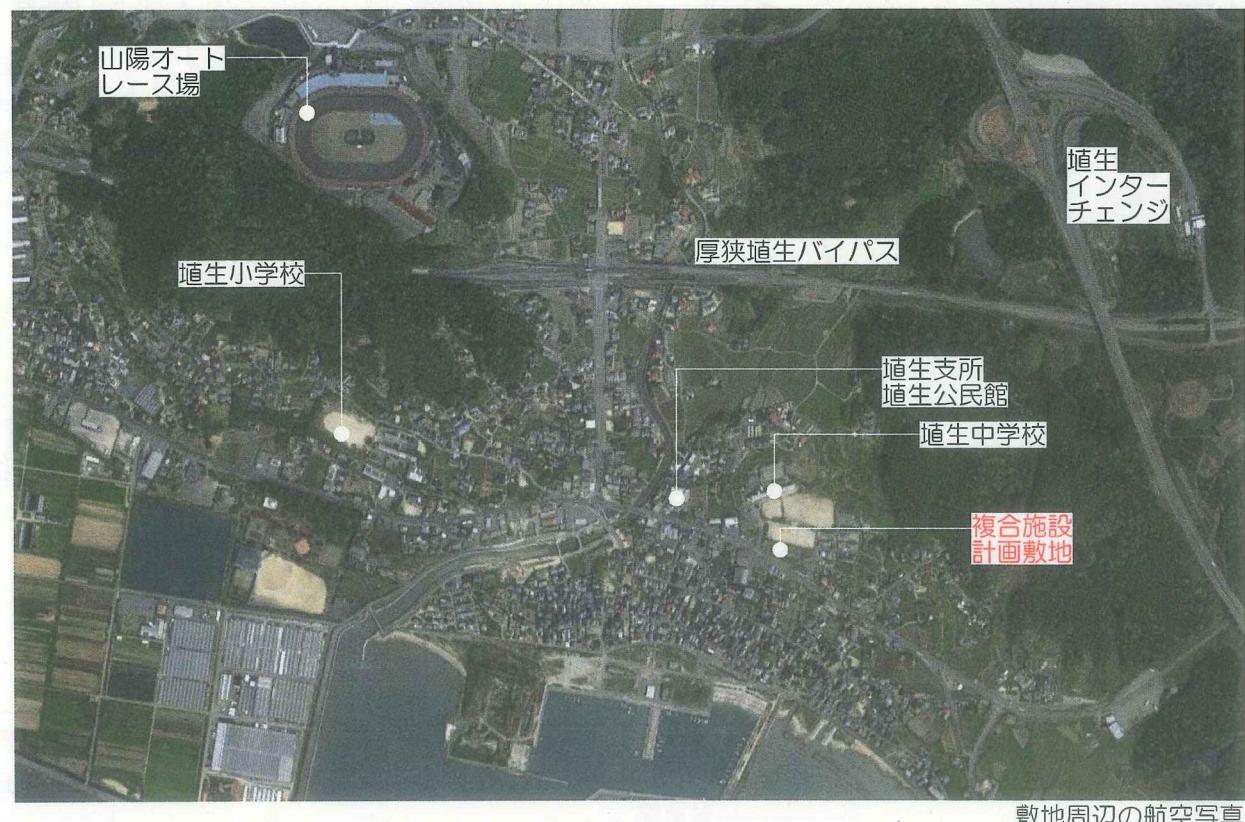
1-1. 施設整備の概要

■ 施設整備の目的

- 山陽小野田市は、大きく4つの地域（小野田・高千帆・厚狭・埴生）から形成されており、それぞれの特性・特徴を生かしたまちづくりを行っています。
- 埴生地区においては、「山と川と海を守り地産地消で地域の活力を生み出すまち」を将来像とし、地域コミュニティの充実を図っていくことを目指しています。
- これらを受け、老朽化した公共施設を再整備し、「新しい地域コミュニティの拠点」を構築するとともに、学社融合の観点から、隣接する埴生小中学校との関連性に十分配慮した整備を行うことを目的としています。

■ 計画敷地の概要

- 敷地は、国道190号（旧国道2号）に接道し、山陽自動車道埴生インターに繋がるバイパスと市街地を結ぶ幹線道路に程近い、丘陵地（海拔約10m）にあります。
- 敷地北側は埴生中学校グラウンド、西側は中学校へのアプローチ道路、東側は民間アパート（2階建て）、南側は交通量の多い国道となっています。
- 国道の南側、埴生漁港までの間は住宅が密集しており、過去には高潮による被害が出ました。敷地から沿岸までの距離は300m程度です。
- 敷地の北西約1kmには山陽オートレース場があり、レース開催日を中心にやや大きな騒音があります。



敷地周辺の航空写真

■ 塩生公民館、埴生支所、埴生児童クラブの状況

- 計画敷地より西へ300m程の場所に埴生公民館および山陽小野田市役所埴生支所が併設されています。いずれも老朽化が問題となっています。また、公民館は2階建てで、エレベーターが設置されていないため、高齢者の利用に不都合が生じています。
- 現在の児童クラブは、埴生小学校の校舎（鉄筋コンクリート造2階建て）内に設置されていますが、耐力度調査により危険建物であることが判明しています。



地図の見方
■事前避難が必要な地区（河川堤防の低いところから、高潮が流れ込む危険があります。）
■事前避難が必要な地区（大きな高潮では、浸水する危険があります。）
■2階以上の丈夫な家屋内で待機可能と思われる地区（状況によって、避難してください。）
■事前避難ルート
● 避難場所
■ 消防・警察・医療機関

■ 計画上の留意点

- 敷地北側に隣接する埴生小・中学校との連携に配慮し、敷地間を直接結ぶ歩行者動線を確保するとともに、イベント時などに共有できる屋外空間、駐車場など、世代を超えて積極的な「交流」を育むことができる計画とします。
- 多くの高齢者が利用するため、屋外のアプローチから玄関、室内に至るまで、バリアフリーに十分配慮した計画とします。
- 敷地が沿岸に近いため、外装材には耐用年数の長いものやメンテナンスが不要の材料を選定します。
- 交通量の多い国道に面するため、騒音への配慮として、二重サッシによる防音や気密性の向上を図ります。

施設整備のコンセプト

- 地域コミュニティの拠点となる魅力あふれる複合施設の整備
- 高齢者の利用に配慮したバリアフリー施設の整備
- 学社融合の理念に基づいた世代間交流を促進する施設の整備

2. 配置計画

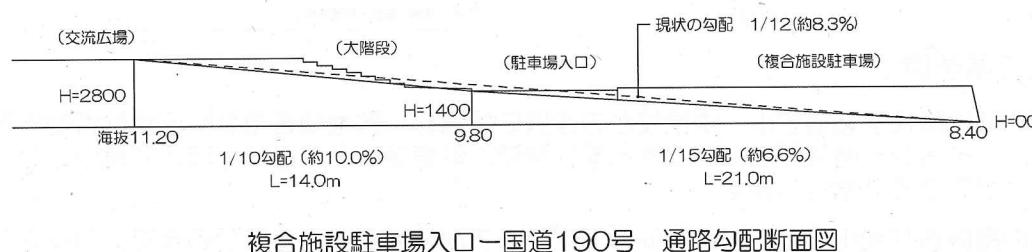
2-1. 配置計画の設計方針

■ 敷地形状を生かしたコンパクトな配置計画

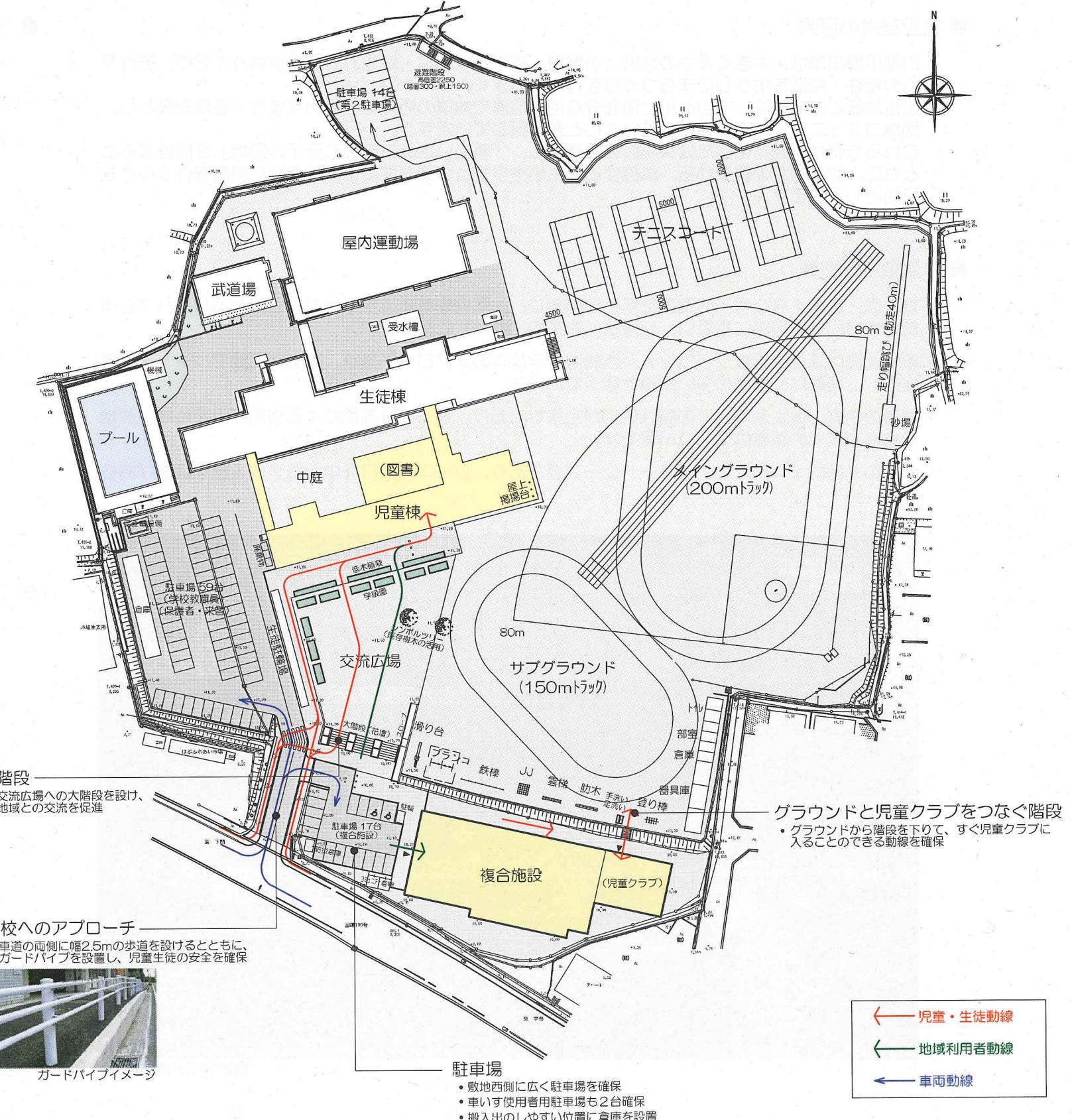
- 東西に長い敷地形状に対して、西側に駐車場、東側に複合施設を配置します。
- 西側のアプローチに面してできるだけ多くの駐車台数を確保するため、建物をできるだけ東側に寄せた配置計画とします。
- 計画敷地と埴生小・中学校の交流広場を緩やかな大階段で接続することで、地域との交流を促します。
- 車を利用した搬入搬出を考慮し、防災倉庫とコミュニティ倉庫を駐車場内に配置します。
- 南側は、国道の騒音や防塵を考慮し、常緑の中木程度の植栽を配置します。

■ 高齢者の利用に配慮した屋外動線計画

- アプローチ部分を含め、敷地内は歩車道の動線分離を行います。
- 敷地内は段差のない計画とし、外灯を設置します。
- アプローチのスロープは、現況の1/12勾配から1/15勾配に緩め、利用者の多くが高齢者であることに配慮した計画とします。
- 車いす利用者対応のおもいやり駐車場を、玄関前に2台分設置します。
- 児童クラブと学校グラウンドを結ぶ階段を設置します。



2-2. 配置計画図



3. 平面計画

3-1. 施設計画の設計方針

■ コンパクトで利用しやすい複合施設

- 東西に細長い敷地に対して、効率よく土地利用できる平面計画とします。
- 南北に居室を配置した中廊下式を採用し、コンパクトで単純明快な平面構成とします。
- 公民館、埴生支所、児童クラブの各エリアは、明確にゾーニングします。
- 外部アプローチとなる西面に玄関を設け、児童クラブは北側に専用玄関を設置します。

■ 壱生支所の施設計画

- セキュリティを確保するため、玄間に面し、屋外アプローチの方向を目視しやすい西面に支所事務室を配置します。
- 受付カウンターを境に、南側を市民待合スペース、北側を職員執務スペースとします。
- 執務スペースに面して、更衣室、文書庫、相談室を設置し、機能性の向上を図ります。

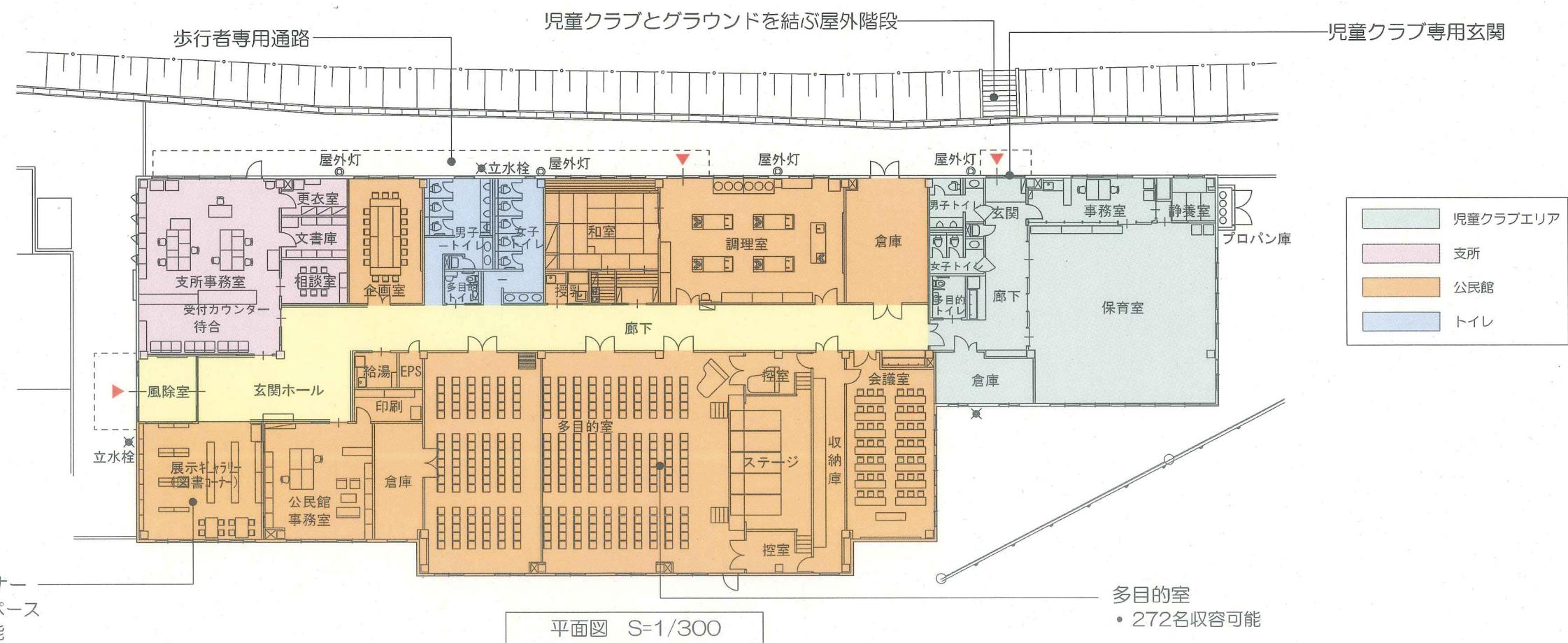
■ 児童クラブの施設計画

- 公民館や支所とは明確に分離独立した平面計画とします。
- 主たる居室となる保育室を中心に、事務室・静養室、倉庫及びトイレなどの水廻りを機能的に配置します。
- 児童のアプローチを考慮して、北側通路は原則として歩行者専用通路とするとともに、外灯を設置します。
- 児童クラブと北側のグラウンドを結ぶ屋外階段を設置します。

■ 公民館の施設計画

- 玄関の近くに公民館事務室を配置し、受付機能とセキュリティを確保します。
- 建物全体を監視できる防災監視盤や制御盤、集中リモコン等を公民館事務室に設置し、複合施設全体の情報拠点、セキュリティ拠点とします。
- 南側に最大272名収容可能の多目的室を配置します。（各種講演会、軽スポーツ、音楽会などを想定）
- 多目的室には、移動間仕切壁（遮音仕様）を設置し、利用形態に合わせて可変できる計画とします。
- 多目的室には、幅8m・奥行5m程度のステージを設置し、両脇には控室を配置します。
- 複数の利用団体の同時利用を考慮し、多目的室と会議室のドアは簡易防音ドアを採用します。
- 調理室と和室を隣接させ、相互を直接行き来できる建具を設置します。
- 玄間に面して展示ギャラリーを配置し、伝統芸能である埴生人形淨瑠璃の人形の展示や、利用団体による作品の展示、掲示ができるスペースとします。
- 玄関廻りの壁面は、壁自体が掲示板となる仕上（合板下地、掲示シート貼り）とします。
- 展示ギャラリーは図書室機能も併せ持ち、蔵書能力は現公民館図書室と同規模の4000冊以上とします。
- 展示ギャラリーと玄関ホール、風除室はガラスを使った透明感のある空間構成とし、視覚的に一体的な広がりが感じられる計画とします。

3-2. 平面計画



卷末資料

1 計画の検討経過

第1回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年7月26日開催）

- ・塙生地区複合施設整備事業について

第2回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年8月25日開催）

- ・配置計画について

第3回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年9月21日開催）

- ・配置ゾーニングの決定について
- ・グラウンドレイアウトの方針について
- ・学校施設の設計条件整理について
- ・複合施設の設計条件整理について

第4回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年10月25日開催）

- ・配置計画（グラウンドのゾーニング含む）の決定について
- ・学校施設の平面計画の方針決定及び立面、断面計画の検討について
- ・複合施設の平面計画の方針決定及び立面、断面計画の検討について

第5回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年11月24日開催）

- ・学校施設の平面計画、立面・断面計画の決定について
- ・複合施設の平面計画、立面・断面計画の決定について

第6回 塙生地区公共施設建設委員会（平成28年12月20日開催）

- ・イメージパース（完成予想図）の確認
- ・基本設計の概要確認

第7回 塙生地区公共施設建設委員会（平成29年1月26日開催）

- ・基本設計説明書（塙生小・中学校整備事業）の確認
- ・基本設計説明書（塙生地区複合施設整備事業）の確認

2 名簿

塙生地区公共施設建設委員会

	職名	氏名	備考
1	委員長	江澤 正思	教育長
2	副委員長	中村 真也	塙生中学校地域コーディネーター
3	委員	水田 三代春	塙生地区自治会協議会会長 (塙生ふるさとづくり協議会会長)
4	委員	田中 龍夫	塙生地区自治会協議会副会長
5	委員	千々松 武博	塙生ふるさとづくり協議会副会長 (塙生地区体育振興協議会会長)
6	委員	林 紀男	塙生地区自治会協議会事務局長
7	委員	模崎 八由美	塙生小学校地域コーディネーター
8	委員	竹森 靖	塙生小学校PTA会長
9	委員	藤村 俊幸	塙生中学校PTA会長
10	委員	角野 好美	塙生文化振興会会长
11	委員	和田 雅子 (代理 竹森 紀久子)	食生活改善推進協議会 山陽支部塙生地区代表
12	委員	大上 敏子	塙生小学校放課後子供教室 コーディネーター
13	委員	福永 繁雄	塙生小学校長
14	委員	寒竹 新二	塙生中学校長
15	委員	上田 博	津布田ふるさとづくり協議会会長
16	委員	大下 邦雄	津布田小学校地域コーディネーター
17	委員	米田 利明	津布田小学校PTA会長
18	委員	長富 肇	津布田小学校長
19	委員	棟久 佳子	教育委員
20	委員	吉本 光良	社会教育委員委員長
21	委員	尾山 邦彦	教育部長
22	委員	古谷 昌章	教育総務課長
23	委員	和西 穎行	社会教育課長
24	委員	佐々木 憲徳	塙生公民館長
25	委員	石本 善子	塙生支所長
26	委員	川崎 浩美	こども福祉課長